

第七十三回 帝國議會  
衆議院 論臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第八回

臨時租稅增徵法中改正法律案（政  
府提出）  
臨時利得稅法中改正法律案（政府提出）  
支那事變特別稅法案（政府提出）  
臨時租稅措置法案（政府提出）  
日滿國稅徵收事務共助法案（政府提出）

第七十三回 帝國議會  
臨時租稅增徵法中改正法律案（政  
府提出）  
酒造稅法中改正法律案（政府提出）  
酒登録稅法中改正法律案（政府提出）  
酒精稅法中改正法律案（政府提出）  
酒稅法中改正法律案（政府提出）  
飲料稅法中改正法律案（政府提出）  
麥酒稅法中改正法律案（政府提出）  
大正九年法律第十二號中改正正法律  
案（所得稅法ノ施行ニ關スル件）  
(政府提出)

臨時租稅增徵法中改正法律案（速記）第八回

昭和十三年二月二十五日(金曜日)午前十時  
四十三分開議 會議

出席國務大臣左ノ如シ  
三木 武夫君  
農林大臣 伯爵有馬 賴寧君

酒造稅法中改正法律案(政府提出)  
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案  
(政府提出)

寸申上ダマシタ如ク競馬法ハ第一條ニ示ス  
ガ如ク、馬ノ改良、増殖及ビ馬事思想普及ノ  
爲ニハ勿論必要ダト考ヘマス、併ナガラ是

出席委員左ノ如シ

委員左ノ如シ  
大藏政務次官 太田 正孝君  
大藏參與官 中村三之丞君  
大藏省主税司長 大矢半次郎君

支那事變特別稅法案(政府提出)  
大正九年法律第十二號中改正法律案(所  
得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)

方爲ニ其反面ニハ身有心ニ燒リマシテ  
地ノデアリマス、ノミナラズ、ソレガ爲ニ地  
倒産スルヤウナ中產階級者モ段々出テ居ル

理事片山 哲君  
前田房之助君  
勝 正憲君  
渡邊玉三郎君  
矢野庄太郎君

大藏書記官 松隈 秀雄君  
大藏書記官 田中 豊君

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時租稅措置法案(政府提出)  
日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)

方ノ所謂質實剛健ノ氣風ト云フモノモ、非  
常ニ消磨サレヤウトスル傾向ノアリマスコ  
トヘ、私共洵ニ國家ノ憂ト致シテ居ルノデア

川崎末五郎君 小畠虎之助君  
宇賀川副四郎君 津倉亀作君  
青山 隆君 小串清一君

陸軍少將 吉田 鳥君  
ニ上リタル議案左ノ如シ

農林大臣ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマ  
前田君がテ開會致シマス 前田君がテ  
前田委員長

リマス 残ニ戰時體制下ニ於キマシテ國民ノ精神ヲ作興スルト云フコトガ極メテ肝要デアリマスル際ニ、射悻心ヲ煽ッテソレガ爲ニ中奎皆波ガ奎ヲ夫フノミナラズ、地方ノ

山川 賴三郎君 森田 福市君  
鶴 牆市君 豊田 收君  
河野 審君 水谷長三郎君

中改正法律案(政府提出)  
中改正法律案(政府提出)  
中改正法律案(政府提出)

貴疑ヲ進メタイト考ヘテ居リシタガ、農林大臣ノ御出席ガナカツタノデ今日マデ留休致シテ置イタノデアリマス、一昨日モ一

質實剛健ノ氣風ガ段々消磨サレツ、アルト  
云フコトハ、眞ニ私共憂ヘナケレバナラヌ  
ト思フノデアリマス、ソコデ先ヅ第一ニ御

尋申上ゲタイト思ヒマスルノハ、何トカシテ私ハ今日ノ此弊風ヲ打破シ、是正シナケレバナラヌ、馬ノ改良、増殖トカ、馬事思想ノ普及ノ必要デアルコトヘ吾々夙ニ認メテ居リマス、ソレ故ニ競馬法ニ對シテモ協贊ヲ與ヘタノデアリマスガ、當時モソレニ種種議論ガアツタ如ク、反面ニ射倅心ヲ非常ニ煽ツテ居ル、ソレガ段々弊害ヲ助長致シテ居リマスル以上ハ、何トカシテ適度ニ之ヲ是正シナケレバナラヌ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、慥カ第二條デアリマシタカ、未成年者トカ、或ハ學生ノ入場モ禁止サレテ居リマス、更ニ其禁止事項ヲ擴大スル必要ガアルノデハナイカ、無論馬事思想普及ノ爲ニハ競馬法制定ノ當初ニ於キマシテハ、相當論議サレタ所デアリマシテ、色々ソコニ弊害ガアルト云フコトモ十分ニ政究サレタノデアリマスガ、一方ニ馬事ノ獎勵、馬ノ増産ト云フヤウナ色々ナ意味カラ、多少ノ弊害ハアルケレドモ、之ヲ實行シナケレバナラナイト云ッタヤウナ事柄デ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、殊ニ今回ノ事變ニ際シマシテ、馬ノコトニ付キマシテハ非常ナ重要性ガ認メラレテ居ルノデアリマシテ、今後純良ナル婦人ト云フモノハ極ク少ナイ、如何ハシイ婦人ガ殆ド全部ヲ占メテ居ル、私共ヲシテ極言ヲ致シマスナラバ、今日ノ競馬場ノ實際ヲ見マスト、家庭ノ所謂馬產ノ獎勵ト云フコトニ付テハ一層力ヲ致シテ居ルノナイヤウナ狀況ニナツテ居リマスノデ、此際競馬法ト云フヤウナコトニ付キマリマス、隨テ之ヲ阻止スルトカ、或ハ縮少シテ、十分ニ注意ヲシナケレバナラヌノデアリマス、ソレハシテ生ジマスル色々ナ弊害ニ付キマシテハ、十分ニ之ヲ矯正致シマシテ、競馬カラ生ズル只今モ御申述べト云フコトハ、非常ニ國民精神ノ上カラ

テ少クスルト云フコトニ付キマシテハ、私之ニ付キマシテ先づ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○有馬國務大臣 前田君ノ御述ベニナリマシタ事柄ニ付キマシテ、私モ至極御同感ノ點ガ少クナインデアリマス、唯併シ此問題ハ競馬法制定ノ當初ニ於キマシテハ、相當論議サレタ所デアリマシテ、色々ソコニ弊害ガアルト云フコトモ十分ニ政究サレタノデアリマスガ、一方ニ馬事ノ獎勵、馬ノ増産ト云フヤウナ色々ナ意味カラ、多少ノ弊害ハアルケレドモ、之ヲ實行シナケレバナラナイト云ッタヤウナ事柄デ今日ニ及ンデ居リマス

○前田委員 私モ只今申上ゲタ如ク、戰時體制下ニ於テハ、馬ノ改良増殖ト云フコトハ最モ必要ダト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ益、獎勵ヲシナケレバナラスト考ヘマスガ、併シ其反面ニ於テ、競馬法協贊ノ時ニ、吾々ハ益、獎勵ヲシナケレバナラスト考ヘマスガ、

ケ少クスルト云フコトニ付キマシテハ、私之ニ付キマシテ先づ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、併シ各國ト日本トハ總ラナイ點ハ改正ヲ致シマシテ、弊害ヲ少クテニ於テ情勢ガ違フ、私ハナゼ斯ウ云フコトヲヤカマシク申上ゲルカト申シマスト、隨分是ガ爲ニ倒産ヲシテ、所謂日本ノ家族制度ノ根本ヲ破壊シテ居ルモノガ少クナ

イ、私ハ鳴尾ノ近クニ住ツテ居ルノデ、其實情ヲ能ク體驗シテ居リマスガ、是ハ阪神間方面ニ於テモ隨分アルノデアリマス、諸外國ノ如ク極端ナル自由主義、個人主義ノ國家ハ別デアリマスガ、日本ノ國ノ如キハドウシテモ家族制度ノ國家ヲ完備スルト云フコトニ、總テノ法律ヲ集中シナケレバナラヌ此場合ニ、斯ウ云フ射倅心ニ煽ラレテサウルノデアリマス、農林大臣ハ只今弊風ハ何トカ是正ラシナケレバナラスト仰セラレタノデアリマスガ、私ハ其具體案ヲツ速ニ拵シテ、十分ニ注意ヲシナケレバナラヌノデアリマス、同時ニ吾々ノ考ヘテ居ル具體案ノ一ツト致シマシテ、現在勝馬投票ノ賣得金ノ一割五分ガ競馬俱樂部ナリ政府ニ納付サレテ居ル、八割五分ガ拂戻シト申シマスカ、買受者ニ拂戻サレテ居ルヤウデアリマスガ、

テモ宜イデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ之ヲ引下ゲルト云フコトニナリマス、今八割五分保留サシテ居ルノデアリマスガ、ソレハ相當低下シテ宜イノデハナイカト思フ、現在八割五分残シテ、一割五分ヲ政府竝ニ競馬俱樂部が取テ居ツテ、競馬俱樂部ガ其中七分、政府ガ八分ノ納付金ヲ受ケテ居ル、其結果ガドウナ

タノデアリマスガ、昭和十二年ノ勝馬投票  
券賣得金ノ總額ハ、實ニ一億三千二百二十  
六万四千五百六十圓ニ達シテ居ル、是ヘ臨  
時競馬ノ分ヲ除イタ額デアリマスガ、一億  
三千二百万圓以上賣得金ガ生ジテ居ル、ソ  
レニ對シテ政府ノ受ケテ居ル納付金ハ僅ニ  
九百七十三万一千九十七圓、非常ニ少イノ  
デアリマス、競馬俱樂部ニ一割五分ノ中七  
分興ヘルコトガ妥當デアルカドウカト云フ  
コトモ是ハ固ヨリ研究ノ餘地ガアリマス、  
ケレドモ、其根本デアル所ノ八割五分ノ割  
戻シヲスル、其源ハ何處カラ來テ居ルカト  
云フト、十倍許シテ居ルト云フコト引下ゲ  
テ居ルノデアラウト思ヒマスガ、此勝馬配  
當ノ最高額十倍ト云フ制限ヲモット引下ゲ  
テ、同時ニ拂戻金ヲ七割位トシ、アトノ三  
割ヲ競馬俱樂部ト政府ガ取ル、斯ウ云フコ  
トニナリマスト、相當納付金ガ殖エテ參ル  
ノデアリマス、假リニ三割競馬俱樂部竝ニ  
政府ガ取ルト云フコトニ致シマシテ、其中  
五分ヲ競馬俱樂部ニ交付スル、アトノ二割  
五分ヲ政府ガ交付金トシテ受クルト云フコ  
トニナリマスト、昭和十二年度ヲ基礎トシ  
テ計算スレバ、三千二百万圓ノ納付金ヲ政  
府ハ受ケ得ルノデアリマス、併シ投票券所

有者ノ損失ヲ少クスルカ爲ニ、配當金ヲ一等ノミニ限ラズニ等、三等ニモ配分スルコトトシテ、一般投票者ノ損失ヲ均分負擔ニスルコトガ必要ト思ヒマス、然ルニ現在ハ一千万圓以下ノ九百七十一万圓——豫算ハ少シソレヨリ多イヤウデアリマスガ、兎ニ角一千万圓内外シカ受ケテ居ラナイ、七割ニシテ三割納付スルト云フコトニスレバ、今申シタ如ク競馬俱樂部ヲ五分トシテ、政府ノ受ケル納付金ハ三千三百萬圓、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サウ致シマスト昭和十二年度ヲ基礎トシテ計算致シマスト、ザット三千五六百万圓ニ私ハ此政府ノ納付金ヲ三千五六萬圓ニ植ヤスコトニ依ッテ、決シテ今日ノ馬ノ改良増殖トカ、馬事思想ノ普及ト云フコトニハ、少シモ影響ハシナイト思ヒマス、假令二百圓ノモノヲ引下ゲテ、百圓マデシカ賞金ハヤラヌト云フコトニシテモ、私ハ相當賣得金ハ殖エルト思フ、今日勝馬ニ投票シテ居ルモノハ、額ノ大小ニ餘り重キヲ置イテ居ラナイ、唯勝テバ非常ニ面白い、何ボカ儲カルノダ、一百圓ガ百圓ニ減ッテモ投票ノ數ト云フモノハ決シテ私ハ減ルコトハナイト思ヒマス、デアリマスカラ一面ニ於テハ今日

トニ於テ相當役立ッテ居ツテ、他面ニ於テハ  
三千數百万圓ト云フ金ヲバ國家ノ財政ニ貢  
獻スルコトニナル、私ハ是非トモ斯ウ云  
風ニヤツテ貰ヒタイ、今國家ノ財政ハ非常ニ  
苦シイ立場ニ陥ツテ居ル、是ハ農林大臣直接  
ノ御關係デナイノデアリマスカラ、後カラ  
大藏當局ニモ附加ヘテ希望致シテ置キタイ  
ト思ヒマスガ、私ハサウ云フ風ニシテ一ツ  
國家ノ大局カラ能ク御觀察ニナツテ、農林省  
ト云フ一局所ニ立ツテ考ヘズニ、國家全體ノ  
コトヲ考ヘラレテ、サウシテ馬事思想ノ普  
及モ達成スル、弊風モ打破シ得ルノダ、同  
時ニ國家ノ財政ニモ相當貢獻スルト云フコ  
トガ、私ハ農林當局トシテ今日考ヘラルベ  
キ途デハナイカ、斯様ナ考へ方ヲ致シタノ  
デアリマスカラ、敢テ農林大臣ニ御尋致シ  
タノデアリマスガ、此點ニ付キマシテモウ  
少シ具體的ナ御方針ヲ承ルコトガ出來マス  
レバ仕合ニ存ジマス

ノ八分ヲ政府ガ取りマシテ、残リノ七分ヲ競馬會ニ渡シテ居リマスガ、其七分ノ中ニ所謂準備金ノヤウナモノヲ積立テマシテ、ソレガ相當ノ額ニ達シマシタ後ニ於テ、尙ホ其残リガアルノデアリマシテ、其残リハ政府ノ方へ之ヲ納メサセルコトガ出來ル譯デアリマスカラ、ソコカラ多少ノ納付金ノ増額ト云フコトハ考ヘラレルノデアリマス其問題ト離レマシテ只今御述ニナリマシタ所謂八割五分ノ割合ヲモット減ラシテ、サウシテソコカラ相當多額ノ政府ノ收入ヲ產マウト云フコトニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタコトヲ承リマシテ、能ク研究シテ見タイト思ヒマス、今マデノ所デヘ其割合ヲ減ラシマシテ、ソレカラ政府ノ納付金ヲ増加スルト云フコトニ付キマシテハ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、御趣意ノ點ハ能ク諒承致シマシタカラ、十分ニ調査研究ヲ致シタイト思ヒマス

ケデアリマスガ、私ハ此機會ニ更ニ財務當局ニモ御願ヲ致シテ置キタイ、是ハ大藏省ジテ稅制ノ根本的改革ヲ、一日モ早ク斷行シテ負擔ノ均衡ヲ圖ッテ、其上ニ立ッテ增稅ナラ増稅ヲヤラナケレバナラヌ、然ルニ今日マデソレヲヤラナイ、其理由ハ何處ニアルカト申セバ、一昨日モ申上ゲタ如ク、政府ハ支那事變ノ爲ニ經濟事情ガ變化ヲ生ジ、收入ガ不安定ニナツタカラヤラウトシテモヤレナカッタ、延バシタト仰シヤッテ居ルガ、是ハーツノロ賓ニ過ギナイト思フ、太田君モ其處ニ居ラッシヤルガ、今日大藏當局ガヤラウト思ヘバヤレルノダ、所得稅ナラ所得稅ノ課稅ノ基本率ノ如キハ、ドンナニ經濟事情ガ變化シタツテ決メ得ルノダ、之ヲ決メ得ナイト云フ理由ハナイノデアリマス、課稅ノ基本率ノ如キハ何時デモ決メ得ル、サウシテ所得ノアル者カラ多ク取り、所得ノ少イ者ニ對シテハ少クスル、若シ經濟ノ事情ガ變化シテ、ソレハ國家ノ收入ヲ賄ヒ得ナイト云フコトニナレバ、種々ナル事情ヲ綜合考察シテ、赤字公債ヲ發行スルコトモ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、私ハヤラウトスレバヤリ得ルン

モ、今日ノ課稅ノ率ハ決メ得ル、然ラバ何故一般ノ中央、地方ノ稅制ノ根本改革ヲ今シテ置イタ、政府ハ此際肚ヲ割ヅテ、吾々ニ本當ノ意思ヲ示シテ貰ヒタイ、サウ云フ胡麻化シヲ言ハズニ、ヤレナイ事情ヲ能ク今日明ニシテ貰ヒタイ、今日一般ノ稅制ノ改革ヲヤラウトスレバ、地方稅ノ惡稅ヲ廢止シナケレバナラヌ、戸數割ヲ全廢スルニ付テハ、七千万圓以上ノ金ガ要ル、其他ノ惡稅ヲ廢スルニ於テハ、ドウシテモ一億圓以上ノ交付金ヲ増加シナケレバ、地方、中央ノ根本的ノ稅制ノ改革ガ出來ナイ、其一億圓以上ノ新シキ財源ガナイカラ、私ハ中央地方ノ一般的稅制ノ改革ヲ延期サレテ居ルコトガ、本當ノ眞意ダト思ヒマス、之ニ對シテ御答辯ガアレバ、結構デアルガ、私ハサウ考ヘテ居ル、斯様ニ適當ナル財源ガナイカラ、一般ノ稅制ノ整理モ延期ラシタ、思ヒマスガ、實ニ無理ニ出來テ居ル、一昨日物品稅ハ何カト私ガ質問スルト、大藏大臣ハ是ハ奢侈稅ダト仰シヤル、奢侈稅ダト

仰シヤル内容ヲ調べテ見ルト燐寸ノ如ク第  
二次生活必需品モ含ンデ居レバ、其他澤山  
ノ生活上必要ナル物ヲ含ンデ居ル、奢侈稅  
製造元ニ課ケテ居ル、サウシテ品物ノ品  
種ノ多イコトヲ見ルト、賣上稅ニ近イモノ  
ニモナツテ居ル、一體ドンナ稅率ノモノカ、  
譯ガ分ラナイ物品稅モ出シテ居ル、免稅點  
ノ如キモ中產階級ニハ御利益ノナイ免稅點  
デアツテ、第七條ノ如キモ相當無理ナコトガ  
アリマス、是ハアトカラ又他ノ委員ガ質問  
サレルト思ヒマスガ、實ニ無理ナ稅金ヲ取  
ラナケレバナラヌ、斯ルコトハ新シク財源  
ガナカツカカラデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居  
リマス、然ルニ今私ガ申シマスル如ク、此  
競馬ノ如キハモウ少シ農林省ト大藏省ガ折  
衝サレタナラバ、二千万圓ヤ三千万圓ノ財  
源ヲ此處カラ捻出スルコトハ、敢テ困難デ  
ハナイ、ソレヲ捻出スレバアノ物品稅ニシ  
テモ、アンナ無理ナ稅金ヲ取ラナクテモ  
濟ム、又所得稅ニシテモ小サナ法人ガ立ッ  
テ行ケナイヤウナ無理ナ所得稅デナクトモ  
ノ意ヲ表セザルヲ得ナイ、出來レバヤハリ  
本年度ニ於テモ斯ウ云ツタモノヲ御取リニ  
ナツテ、サウシテ適當ニ財政上處理サレル

コトガ必要ト思ヒマスガ、ドウカツ新シキ適當ノ財源ニ對シテハ、大藏當局モ國家的見地ニ於テ、廣ク關係省方面ト御折衝ヲ現在五十錢ノ聽取料ヲ是ハ七十錢位ニ増シテモ宜イヂヤナイカト思フ、私ガ遞信省ニ居ツタ時ニ、既ニ二十錢位上ゲヨウト云フ案ヲ作ツタガ、是ガ七十錢ニナックタシテモ別段聽取者ハ減ラナイノデアリマス、サウスルト茲ニ六百万圓ノ特別稅ガ取レル、其他本當ニ御考ニナレバ餘り弊害ガナク、相當ナ財源ヲ捻出シ得ルノデアリマスカラ、能ク總テノ方面ヲ考慮サレマシテ、適當ナ稅源ヲ此際捻出シテ、サウシテ一般物價ガ非常ニ上ツテ、國民生活ヲ脅威スルヤウナ無理ナ增稅ハオ止メニナッテ、速ニ國民ノ負擔ガ均衡ヲ得ルヤウニ、折角一ツ財務當局トシテシッカリ御努力ヲ願ヒタイト云フ御希望ヲ申上げマシテ本日ノ私ノ質問ヲ打切りマス、此點ニ對シテ御所見ヲ承ルコトガ出来レバ結構デアリマス

コトハ其時大藏大臣カラモ申述べマシタ通リ  
デアリマス、私ノ申スコトモ同ジ立前カト思ヒ  
マス、唯少シ見方ヲ變ヘタリ、又モウ少シ丁  
寧ニ申上ゲテ見マスレバ、各人ノ收入ニ變  
動ガアルト申シマスガ、之ヲモウ一ツ遡ツテ  
考ヘマスレバ此時局ニ對シマシテ色々ナ統  
制的ナ政策モ加ヘラレマシテ、經濟ノ段階  
ニ於キマシテノ生産ニ付キ、分配ニ付キ、  
流通ニ付キ、消費ニ付テ色々ナ手ダテガ加ヘ  
ラレテ居リマシテ、斯様ナ事情ノ下ニ動ク實  
體ヲ捉ヘ、之ヲ鏡ニ寫ス如クソコヘ一ツノモ  
ノヲ當嵌メルコトヲ考ヘラレマスレバ宜シ  
イノデアリマスガ、實際ノ經濟ノ事情ガ動  
イテ行ク所ニ、其稅率ヲ當嵌メテ行ク、ソ  
ニニ私ハ難點ガアルデハナイカト存ジテ居  
リマス、大藏大臣ハ收入ヲ主トシテ御説キ  
ニナリマシタガ、今ノ各種ノ政策ガ強化サ  
レテ居ル時ニ於キマシテ、此稅ヲ動カスト  
云フコトハ——本會議ニ於テモ大變ニ御非  
難ヲ蒙ッタノデアリマスガ、稅率ニ付テ言ヘ  
バ、何本カノ稅率ガ出テ居ルコトハ、見方  
ニ依ツテハ何本カノ其稅率ニ依ツテ調整サレ  
テ居ルト云フノガ、今ノ經濟社會ノ實態ニ  
副フ所以デハナイカト考ヘラレマスノデ、  
之ヲ動カスニ付キマシテハ色々ナ點カラ考  
ヘタノデアリマス、今申シマシタ國家ノ政

策ガ、生産、分配、流通、消費ノ各方面ニ  
互ツテ普通デナイ状況ニアリマスノデ、所得  
税ト云ツテモ、其本税ニ付キマシテハ動カサ  
ズニ、アレヲ加ヘ、之ヲ加ヘ、アレヲ引ク  
ト云フヤウナ複雜ナコトニナツテ居ル状況  
デアリマス、尙ホ問題トシテハ中央、地方  
ヲ通ズル關係ニ於キマシテ前田サンノ御指  
示ニナリマシタ通り、税源關係カラ見タ意  
味ニ於ケル、國稅ニ於ケル負擔ノ衝平ト云  
フコトヨリモ、地方稅ニ絡ンダ所ニ難點ガ  
アルト云フコトハ、世間皆サンノ御覽ノ通  
リダト思ヒマス、國稅ニ關スル限りニ於キ  
マシテハ、或ハ都市ト農村トノ關係、或ハ  
動產ト不動產、個人ト法人トカ、色々馬場  
サンノ時ニモ議論サレタ問題ガアリマスガ、  
國稅ニ關シテハ其點ガ餘程緩和是正サレテ  
居リマス、地方ト絡ンダ時ニ於キマシテ茲ニ  
非常ニ難カシイ税制整理ガ横ツテ居ルノデ  
アリマシテ、簡単ニ片付ケルト云フコトニ  
ハ行カナイ状況デハナイカト思ヒマス、併  
ナガラ前田サンガ主力ヲ置イテ御説キニナ  
リマシタ適當ナ稅源ヲ得ル、或ハ財政收入  
ヲ増シテ來テ此税制整理ヲ旨クヤツテ行ク  
車ニシテ行キタイ、油ニシテ行キタイト云  
フ御意見ニハ全然賛成デゴザイマス、又其  
意味ニ於キマシテ色々ノ手ダテモ考ヘテ行

シマシテモ、或ハモット取レルト云フ御意見  
モ隨分アリマスルガ、昨年ノ増徴法以來相  
當經濟界ニ或ハ國民生活ニ重イ負擔ヲ課シ  
テ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ色々ナ點  
ヲ考ヘテ見ルト、他ニ餘地ガアレバ無論今  
前田サンノ仰シヤイマシタヤウニ、稅源ヲ  
得ルト云フコトガ稅制整理ノ一つノ大キナ  
項目ニナルト云フコトニハ間違ノナイコト  
ト思ヒマス、併シ問題トナリマシタ競馬ノ  
問題ニ付テハ、只今農林大臣カラ御話ニナ  
リマシタ通り、實體トシテノ馬政ト云フモ  
ノト深イ關係ヲ持ッテ居リマスルノデ、農林  
大臣ノ御言葉ノ如クニ能ク其點ニ付テ留意  
シツ、稅收入ニ向ケ得ベキ部分ニ付キマシテ、篤  
ト相談シテ出來ルダケ御趣意ニ副フヤウニ  
進ンデ行キタイト思フノデアリマス  
○高橋委員長 岡本君ヨリ前田君ノ質疑ニ  
關聯シテ質疑ノ通告ガアリマスカラ、此場  
御尋致シテ見タイト思ヒマス、只今前田君  
合御許シ致シマス——岡本君

コトデアリマス、是ハ農林大臣ト大藏當局  
兩方ニ御伺致シマス、此度提案ニナリマシ  
タ支那事變特別稅法案第二十六條「入場稅  
ト云フノヲ新ニ課シテアリマス、其第一種  
ノ二號、競馬場ト云フノガアリマス、第二  
十七條ニ「入場稅ハ入場料ノ百分ノ十」トシ  
テアリマス、即チ一割ト云フコトニ規定致シ  
テアリマス、公認競馬ノ方ハ入場料ハ五圓  
或ハ三圓ト云フコトニ定マツテ居リマス、  
然ルニ地方競馬ニ於キマシテハ組織ノ根本  
ガ違ヒマスル爲ニ、入場料ハ幾ラト云フコ  
トハ特ニ分ラナイノデアリマス、尤モ此競  
馬ノ沿革カラ申シマスト、ズット以前ニハ入  
場料ハ一圓ト云フコトデ、其一圓ノ入場料  
ニ對シテ勝馬ノ賞品券トデモ申シマスカ、  
サウ云フモノガ附イテ居ツタノデアリマス、  
ダカラ一人ガ一度入場スレバ、其一圓ノ景  
品附ノ入場料ト云フモノガアツタノデアリマ  
ス、只今ノ規則デ見マスルト、一競馬ニ付  
テ一圓ノ賞品券附トデモ申シマスカソレガ  
附イテ居リマス、隨テ五競馬ノモノニハ五  
圓、十競馬ノモノニハ十圓、最モ多イモノ  
ガ十二競馬、全部入リマシテ十二圓、斯ウ  
云フヤウナモノデ五圓、十圓、十二圓ト云  
フノデ、券ヲ賣出シテソレニ依ツテ入場ス  
ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマ

ス、ソコデ今ノ五圓トカ十圓トカ十二圓ト  
カ云フモノハ之ヲ全部入場料ト見マスルト、  
之ニ對シテ一割課スト云フト或ハ五十錢、  
一圓、一圓二十錢ト云フ入場稅ガ出テ來ル  
ト云フコトニナル、公認競馬ノ方ハ五圓或  
ハ三圓ニ對シテノ一割ダカラ五十錢或ハ三  
十錢デ非常ナ不公平ナモノデアリマス、隨  
テ又組織ノ本ガ達ヒマスガ爲ニ、地方競馬  
デ五圓、十圓、十二圓ト云フノハ全部是ハ  
入場料ト見ル譯ニハ參ラスト思フノデアリ  
マス、ソコデ地方競馬ニ付テ入場稅ヲ課ケ  
ラレル其基本デアリマス、是ハドウ云フ風  
ナ御取扱ニナリマスカ、既ニ定マッテ居リマ  
スモノガアリマスナラバ御示シヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス、是ハ農林、大藏當局ドチラカ  
ラデモ宜シウゴサイマス

○岡本委員 サウ致シマスト實質上ノ入場料ト云フノガ、此地方競馬場デハ甚ダ不明ニナツテ居リマス、ズット以前ニハ一圓デアッタノデスガ、今デハ一圓ト云フコトハ言ヘナイコトニナツテ居ル、又其内情ヲ承リマスト云フト、七割五六分位ガ勝馬ノ方ノ關係ニナツテ居ル、其二割三四分カラ二割五分、是ハ地方ニ依ツテ違フヤウデスガ、其位ノ程度ガ地方稅トカ或ハ其俱樂部ニ入ル控除スル金ト云フヤウナモノニナルヤウデアリマス、サウ致シマスト假ニ十圓ノ券ヲ賣出シマスト二圓四五十錢ト云フモノハ所謂本競馬ノ方ノ入場料ニ當ルモノニナルヤウニモ思ヒマス、勝馬投票ノ方モ七割五六分ト致シマスト、サウ云フコトニナル、サウデモスレバ多少茲ニ釣合モ取レルカト思ヒマス、ソレデモ假ニ十圓ノモノニ於テ、公認競馬ガ馬所謂草競馬ト云フモノデ二十五錢ト云フ三圓ノモノニ對シテ一割ノ三十錢、地方競馬ノハ茲ニ不釣合ガ出テ來ルヤウニ思ヒマス、

又此割合ト云フモノガ地方ニ依ツテ多少違ヒマスカラ、何割ト云フテ是ガ明確ニ出来ヌモノモアルカト思ヒマス、此取扱ニ付テ法案ノ法文デハ分リマセヌガ、命令ノ規定カ何カデ確ト御定メニナル御趣旨デアリマスカ、御尋致シマス

○太田政府委員 今御質問ノ點ハ命令デ定メル者デゴザイマシテ、第二十七條ノ第三項ノ「前項ノ入場料ノ算定ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ其命令ノ中ニ入レル積リデアリマス、其内容ハ入場料ニ附ケマスル優勝馬投票券ノ投票證引換券ノ票數デ入場料ヲ割ヅタ金額ヲ入場料トシ之ヲ課稅標準トシテ課稅致シマス、例へバ優勝馬投票券ガ五枚アリマストソレヲ五デ割リマシテ、一枚一圓トスレバ一圓ノ入場料ニ十錢課ケルコトニナリマス、十枚アリマス時ニハソレヲ十デ割リマシテ、ヤハリ一枚一圓トシテ十錢ノ稅ヲ課ケルコトニナリマス

○岡本委員 御趣意ハ分リマシタ、ドウゾ公認競馬ト地方競馬トノ間ニ不釣合ノナイヤウニ命令ノ御定メヲ願ツテ置キマス、私ガ之ヲ申シマスノハ、公認競馬ノ時ニハ勝馬投票ガ當ツク時ニハ二十圓以下ト云フコト

競馬デスト一圓ガ勝馬投票券トシマシテ、第一著ノ馬ニ當ッタ者デモ一圓ガ切レルコトガアル、八十錢、八十五錢、九十錢ト云フヤウニ、投票券ノ一圓ヨリモ以下ニ下ル角買フタ人ガ第一著ノ勝馬ニ當ッテモ八十五錢、八十五錢、二著三著ニ當ッタ者ガ一圓五十錢、二圓トスウ云フ奇態ナ結果ガ出マス爲ニ、地方競馬ガ自然衰微シテ皆本競馬ニ走ッテシマフ、斯ウ云フコトニナリマシテ、地方競馬ガ成立タスト云フヤウナコトガ起ルコトヲ懸念スルノデアリマス、折角御認ニナツタ地方競馬デアリマスカラ、相當成立ツヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、ドウゾ入場料ニ付テハ只今ノヤウナ不釣合ノナイヤウニ、命令デ御定メニナラレンコトヲ重ネテ希望致シマス、私ノ質問ハ之ヲ以テ終リマス

○小串委員　只今岡本サンカラ御質問ガアリ、尙ほ前田サソノ御質問ニ對スル大臣ノ御答辯、茲ニ太田政務次官ノ御答辯デ略、政府ノ御意見ガ分ツタノデアリマスガ、此際モウ少シハッキリト其點ヲ御伺シテ置キタイ

○高橋委員長　小串君ヨリ關聯質問ガアリマス、許可致シマス

ト思フノデアリマス、一體入場稅ト云フモ  
ノハ事實ハ入場者ガ拂フ稅デアッテ、其事業  
ヲ開催スル者ガ拂フモノデナイト云フコト  
ト、ドウシテモ開催者ノ方カラ徵收スルヨ  
トニシナケレバ稅ノ徵收上ニ非常ナ手數ガ少  
掛カル、只今太田サンノ御説明ノヤウナ方  
法ニ依ツテ取ルト云フコトモ無論是ハ出來  
ルコトデアリマスケレドモ、現在全國百十  
七箇所アル地方競馬ノ中デ、十二三ノ縣ハ  
内務省ノ許可ヲ受ケテ觀覽稅ヲ取ツテ居ル、  
此觀覽稅ノ取り方ハ、ソレヲ特別府縣稅ト云  
シテ拂ツテ居ル地方デハ、ヤハリ入場券ト云  
フノハ事實ハ投票券ト入場料トヲ含シグモ  
ノデ、今岡本サンノ指摘サレタ通りデアリ  
マスガ、其外カラ取ツテ居ルモノモアル、ソ  
レガ面倒ノ爲ニ今ノ投票券トシテ勝馬ニ拂  
戾スベキ金ノ中カラソレヲ差引イテ、即チ  
御指摘ニナックヤウナ二割五分ヲ取ツテ居ル  
ト云フノモアルノデアリマス、併ナガラ實  
際大部分ノ地方競馬ハ大體ニ投票券付入場  
料トシテ一枚一圓、サウシテ是ガ單式、複  
式ニ於テ各十二枚ヅ、二十四枚ハ最大限投  
票スルコトガ出來ル、即チ二十四圓ダケノ  
馬券ヲ購入スルコトガ出來ルノデアリマシ  
テ、ソレデ實質上ハ即チ二割ガ所謂入場料

ニ當リ、主催者ノ競馬ノ開催ノ費用、並ニ農林省ガ今嚴重ニ指摘シテ居ル所ノ馬匹施設費ニ使ツテ居ル譯アリマスカラ、此實質上ノモノニ或ハ一割ナラ一割ノ入場稅ヲ原則トシテ課スルト云フコトデアツテモ宜イデハナイカ、其方ガ國庫ノ收入ハ相當殖エルノデアリマス、或ハ只今ノヤウナ方法デ割出シテ行クト云フコトモ、徵稅上簡單ニ出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、事實ハ先ヅ以テ只今ハ地方稅トシテノ馬券ニ對スル課稅デアル、而モ全國デ競馬ノ不振ナ地方ハ或ハ課稅ノ爲ニ不振ナノカモ知レマセヌノデ、不振ナ地方ダケノ特別稅ハヤハリ此際原則トシテ御廢止ニナッテ、サウシテ國稅トシテノ入場稅ヲ、或ハモウ少シ重クナッテモキチント課スルノガ宜イデハナイカ、此際私ハ農林省ノ方モオ居デニナッテ居リマスノデ其事モ伺ヒタイノデスガ、今ノ點ニ付テ私ノ考ヲ申上ゲテ、サウ云方方法ガ宜イデハナイカト云フコトヲ當局ニ御尋シマス

ニナル、私共ハ日本ノ馬政計畫ト云フモノハ過去三十年ニ亘ツテ相當ノ努力ヲ拂ツタケレドモ、今回ノ事變ニ於テハ甚ダ遺憾ナ點ガアル、昨年カラ馬政第二次計畫ト致シマシテ當時百五十万疋ニ有能ノ馬ヲ六十万増殖保有スルト云フコトデアルガ、此大計畫ヲ實際ニ行フト云フコトニ付テハ、斯ウ云ッタヤウナ收入ニ依ツテモウ一層ヤラナケレバ現在ノ國防上非常ナル缺陷ガアル、今茲デ私ガサウ云フ議論ヲスル場合デナイケレドモ、實際ハ斯ウ云フ譯デ、現ニ農林省ガ地方競馬ニ對シテ今マデヤッテ居ラレルノハ、此收入ノ中デ競馬ノ入場料即チ馬券ノ賣上ノ多イ程累進率ニ依ツテ、二割取ルモノヲ、非常ニ多ク賣レル場合ニハ一割八分マデラ馬ノ改良増殖ノ爲ニ支出シロト云フコトデ現ニソレヲヤツテ居ル、併ナガラ其ヤッテ居ル效果ガマダ不十分デアリ、色々議論ガアリマスケレドモ、今回ノ事變ニ於テ地方競馬ガヤッテ居ル所ノ乗馬俱樂部其他ノ馬匹ガ、日本ノ馬匹トシテ不完全ナガラモ相當優秀デアッタト云フコトハ私斷言出來ルト思フ、現ニ吾々ノ陸軍ノ成績ニ聞イテモ日本ノ非常ニ貧弱ナ馬匹ノ中デ非常ニ良イ成績ヲ持ツテ居ルコトヲ私ハ保證シ得ルト思フ、サウ云フ譯

デアルカラ此仕事ハドウシテモ相當面倒ヲ見ナケレバナラヌガ、同時ニ今ノヤウナ收入ノ中ノ殆ド大部分ヲ馬ノ改良増殖ニ支出シテ行クノデスカラ、其上ニ大キナ稅ヲ課スルト云フコトニナツテハ實際ニ經營ガ出來ナクナル、私ハ全國均一ノ意味カラ言ッテモ地方稅ハ廢シテ、サウシテ入場稅トシテノ徵收ノ方法ハ、或ハ馬券ノ實收ト云フモノヲ假ニ入場料トシテ見テ之ニイキナリ稅ヲ課スルナラバ、人員ヲ々調べル必要ガナイ、公認競馬ト云フモノハ二圓トカ、三圓トカ、五圓トカ特別ノ入場料ガアツテ、馬券ハ全然別ニ計算サレテ居ルカラ、此入場料ニ對シテ直グ課稅スレバ宜イノデアルガ、地方競馬ハ岡本サンガ御話ニナツタヤウニ馬券ト入場料トヲ全部含ンデ居ルト云フ關係カラ、ドウシテモ徵稅上非常ニ困ル、デアルカラ徵稅上最モ簡單ナル方法トスルナラバ、私ハ此馬券ノ實收ニ向ッテ一割ナラ一割課ス、是ハ相當重クナリマス、三千万圓程度ノ二割デ六百万圓、其一割ヲ取ルナラバ國庫ノ收入ハ先づ概算六十萬圓入爾譯ニナリマス、是ガ一番徵稅上簡單デアツテ、サウシテ合理的デハナイカ、先刻太田政務次官

ノ御説明ノ方法ハ計算ハ面倒デ收入ハ少クナル、私ハサウ云フ風ニハッキリト入場稅ヲ取ッテ、ソレカラアトノ收入ニ對シテハ政府ガ強イ監督ヲ加ヘテ、無論弊害ノアルモノデスカラ其弊害ヲ除去スルヤウニスルト共ニ、所謂馬政計畫ノ完備、國防ノ完備ニ向ツテ其收入ノ大部分ヲ之ニ向ケテ行ク、斯ウ云フコトニシテヤリタイト思フノデアリマス、其點ニ付テ農林大臣竝三・大藏省方面ノ御意見ヲ此際承ツテ置キタイト思ヒマス。

○有馬國務大臣 只今御述ニナリマシタ地方競馬ノ徵稅ノ問題ニ付キマシテハ大藏省當局ニ於テ御答ガアルト思ヒマス、地方競馬ノコトニ付キマシテハ相當成績ヲ擧ゲテ居ル所モゴザイマスルガ、地方ニ依リマシテハ大變不振ノ所モアルヤウニ聞イテ居リマスノデ、ソレ等ノ方面カラ地方競馬ノコトニ付テノ改善其他ニ付テ陳情ガアルノデアリマス、當局ニ於キマシテモアルヤウナ事變ニ付テ居ルノデアリマス、今回ノ事變ニ依リマシテスガ、今回ノ事變ニ付キマシテ内地、外地竝ニ滿洲國ヲ通ジテ所謂馬政方針ト云フモノヲ確立シナケレバナラナイヤウナ事情ニ立至ツテ居ルト思フノデアリマス、今後是等ヲ通ジマシテ馬政方針ガ確立致シマスニ伴

ヒマシテ、地方競馬ニ對シテ如何ニスルカト云フコトモ同時ニ考ヘナケレバナラナイト思ヒマス、只今ノ所デハサウ云フヤウナ事情ニアリマスノデ今後地方競馬ノ振興トシテハ十分ニ調査ヲシ、研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス。

○太田政府委員

小串サンノ、國說トシテ

ノ入場稅ヲ設ケルコトニ付テハ、同時ニ地方稅關係ハ此點ニ付テハ止メテシマッカラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、先程私ガ實質的ノ入場料ニ課スルト言ッタ意味ガソニアルノデアリマシテ、國稅ヲ課ケラレザル部分ニマデモ地方稅ヲ止メサスト云フ意味デハゴザイマヌ、第六十一條ノ第二項ニ「入場稅ノ課稅標準タル入場料ヲ標準トシテ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ」下アリマスノハ、課稅標準ト云フノハ實質上ノ入場料ト認メラルベキ部分ヲ申シタノデアリマシテ、其以外ノ國稅ヲ課ケラレザル部分マデ地方稅ヲ止メルト云フ譯デハアリマセヌ、又地方稅ノ關係ニ付キマシテハ當該地方團體ノ財政事情ナドモ深キ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、其事情ニ應ジテハ課稅ヲ認メル場合モアラウカト思フノデゴザイマス、國

ト思ヒマス、只今ノ大臣ノ御答辯ハ至極御事情ニアリマス、此地方競馬ト云フモノハ申シマスカ、之ヲモット有效ニ致シマスルニハ如何ニスレバ宜イカト云フコトニ付キマシテハ十分ニ調査ヲシ、研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス。

○小串委員 只今ノ大臣ノ御答辯ハ至極御申シマスカ、之ヲモット有效ニ致シマスルニハ如何ニスレバ宜イカト云フコトニ付キマシテハ十分ニ調査ヲシ、研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス。

○太田政府委員 小串サンノ、國說トシテノ入場稅ヲ設ケルコトニ付テハ、同時ニ地方稅關係ハ此點ニ付テハ止メテシマッカラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、先程私ガ實質的ノ入場料ニ課スルト言ッタ意味ガソニアルノデアリマシテ、國稅ヲ課ケラレザル部分ニマデモ地方稅ヲ止メサスト云フ意味デハゴザイマヌ、第六十一條ノ第二項ニ「入場稅ノ課稅標準タル入場料ヲ標準トシテ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ」下アリマスノハ、課稅標準ト云フノハ實質上ノ入場料ト認メラルベキ部分ヲ申シタノデアリマシテ、其以外ノ國稅ヲ課ケラレザル部分マデ地方稅ヲ止メルト云フ譯デハアリマセヌ、又地方稅ノ關係ニ付キマシテハ當該地方團體ノ財政事情ナドモ深キ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、其事情ニ應ジテハ課稅ヲ認メル場合モアラウカト思フノデゴザイマス、國

ト思ヒマス、只今ノ大臣ノ御答辯ハ至極御事情ニアリマス、此地方競馬ト云フモノハ申シマスカ、之ヲモット有效ニ致シマスルニハ如何ニスレバ宜イカト云フコトニ付キマシテハ十分ニ調査ヲシ、研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス。

○太田政府委員 徵稅ノ問題ニ付キマシテノ如ク濫設シテ居ルモノニ對シテモ相當ノ整理ヲ行ツテ、サウシテ最モ效果的ニ國家ノ要望スル軍用馬匹ヲ常ニ供給シ得ルヤウニ私ハシタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、ソレ故ニ是ハ御答ヲ求メル譯デハアリマセヌガ、殊ニ今戰時ノ際ニ至急此統制ヲ御圖リガ、殊ニ是ハ御答ヲ求メル譯デハアリマセヌガ、殊ニ今戰時ノ際ニ至急此統制ヲ御圖リニナルヤウニ願ヒタイト思フノデアリマス、モノハ、極メテ不振ノ地方ニ於テ之ヲ課シテ居ルノデアッテ、其稅額ト云フモノハ極メテ僅ナモノデアリマス、而モ殆ド全國四十

六府縣ノ中デ、特定ノ十七府縣ガサウ云フ利益金ノ何「パーセント」ヲ取ルト云フコトハ淘ニ簡單デ一應結構カト思ヒマスルガ、

○太田政府委員 徵稅ノ問題ニ付キマシテノ方法ニ依ツテ府縣ノ財政ニ幾分ノ助ケヲ得ルヤウナ方法ヲ採ツテ居ル縣モ是亦多少アリマスケレドモ、私ハ寧ロ斯ウ云フ入場稅ヲ課スル以上ハ、是ハ一時的ノ稅デハアリマスガ、國庫ノ收入ニ之ヲ取ツテ、サウシテ残ハ全部——其地方ノ財政ニハヤハリ多少ノ困難ガアルトシテモ、僅ナモノデアリマスカラ、寧ロソレヲ地方ノ馬事振興ノ爲ニ施設サレルト云フ方法ヲ採ツタナラバ其方ガ非常ナ利益ニナルコトデアルカラ、隨テ此特別稅ヲ、內務大臣ノ認可ヲ受ケテ區々ニ課シテ居ル現在ノ有様ハ——此處ニハ内務大臣ハ居リマセヌガ、サウ云フ僅ナ金ヲ漁ツデ、サウシテ全國均一デナイ非常ナ不自然ナ形ヲ茲ニ殘シテ置クト云フコトハ、何トシテモ宜イ方法デハナイト斯様ニ確信シテ居リマス、ソレ故ニ私ハ今ノヤウナ趣旨ヲ以テ、而モ國稅ニ於テハ私ノ今申上ゲルヤウナ程度ナラ、農林省ガ要求ヲシテ居ル所ノ馬事施設竝ニ競馬經營ニ支障ヲ起サナイ、サウシテハッキリシタ簡単ナ徵稅ノ方法デオヤリニナルト云フコトヲ望ミマシテ、細カイコトハ他日御質問シマス。

ク消費稅的ノ立前ヲ採ツテ居リマシテ、利益金ノ何割ヲ取ルト云フコトニナリマスルト、此法案ノ趣意トハ少シ食違ヒガアルノデゴザイマス、唯便宜ダト云フコトニ付キマシテハ同様カト思ヒマス

○小串委員 ソレハ少シ御解釋が違フト思ヒマス、是ハ詰リ私ガ初ニ申シタ通り、入場稅ト云フモノハ入場スル者ガ拂フ稅デ主催者ノ拂フ稅デヘナイ、實ハ地方競馬ト云フモノハ入場料ヲ取ツテ居ナイ、投票券附入場料ト稱シテ、即チ一圓以上十圓マデアルガ、入ッタ人ニ八割ハ返シテシマフ、實際ノ入場料ニ當ルモノハ詰リニ一割ダケデアル、ダカラソレヲ私ハ入場料ト看做シテ之ニ一割ノ課稅ヲスル、併ナガラ其課稅ハ開催者ガ拂フノデハナクシテ、入ッテ來ル觀衆ガ之ヲ拂フノデアルト云フ觀念カラ行クベキモノト思ツテ、即チ開催者ノ方ハ九十八錢ダケノ入場券附投票ヲ賣ツテ居ル者、斯ウ看做シテ私ハ宜イト思フ、サウシナケレバ實際徵稅上非常ナ手數ガ掛ツテ來ルダラウト思フ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○高橋委員長 農林大臣竝ニ馬政局次長ガ出席ニナツテ居リマス、競馬其他馬事ニ關

シテノ御質疑がアルナラバ、此場合御發言  
ナサルガ便宜ト思ヒマス、他ニゴザイマセ  
ヌカ——岡田君

スカ

○川崎委員 私モ大藏大臣ガ居ナクテハ、  
ドウモ意味ラナサヌト思ヒマス

○高橋委員長 大藏大臣ハ本日貴族院ノ豫

算會諸の方へ出で居テレマスカラ 午前中  
ハ差繰ガ出來ナイト云フコトデアリマス

○岡田委員 一寸伺ヒマスガ、明日ハ大藏大臣ハ御見エニナルノデアリマセウカ

○高橋委員長 明日ハマダハツキリ致シマセヌガ、大蔵大臣方他出サレルヤウナ趣デ

議會ニハ出テ來レヌノヂヤナイカト云フヤ

ウナコトヲ耳ニ致シテ居リマス  
ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○岡田委員 田君 要スルニ昨日私モ大蔵大臣ノ

御答辯ノ以外ニ、アノ事項ニ付テ總理竝ニ

内務大臣ニ御請求ヲ致シテ居リマス、問題ニ依レバ文相ノ意見モ伺ハナケレバナラヌ

第六類第六號  
臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄

第八回 昭和十三年一月十五日

昭和十三年二月二十五日印刷

昭和十三年二月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局